



2008年5月9日

VOL. 18

# とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

## 現地発！台湾月刊レポート⑪

### 日本語はCOOL？

今回は、台湾と日本の商標権問題についてレポートする。台湾では、「さぬきうどん」を看板にした日本業者が、台湾業者から商標侵害で警告を受けた。日本人が知らぬ間に、日本の地名が、台湾で商標として認められていたのだ。台湾進出を考えている皆様は、防衛されることをお勧めする。

#### ■「鳥取」が商標登録される日も近い？

昨年12月に起きた、台湾「さぬきうどん」事件をご存じだろうか。台湾では、すでに現地企業が「さぬき」を商標登録していたため、日本から来た讃岐うどん店が、この台湾現地企業から、看板をおろすよう警告されたのだ。台湾ではないが最近の話題は、中国大陸で「謝罪」という日本語が、日本人によって登録出願されたという話題。「謝罪」という商標の日本商品に囲まれた中国人にとっては願ったり、というニュース。どうも知名度アップの受け狙いだったようだが、商標の問題は奥が深い。

台湾では、都道府県名、地域名、日本で使用されている商品名称の商標登録がされている。たとえば「島根」は、すでに商標登録されている。「島根」で検索結果。台湾で登録されている商標が出る。

ちなみに「鳥取」は、セーフ。調べると鳥取のアイドルである「鬼太郎」の字と絵は、東映動画が、ほぼ押さえているが、「鬼太郎」という文字は、鞆類を台湾の会社が押さえている。コナンは中国語名が「柯南」だが、台湾企業にのみ押さえられている。著作権のからみがあるが防衛するにこしたことはないと思われる。

#### ■「大山」「米子」「三朝」は登録済み

また同じ漢字圏であるため「大山」「米子」「三朝」なども登録されている。

る。これらは、日本の地名というより通常用語で登録した可能性もある。このあたりも難しいところだ。



鬼太郎

柯南

実際に台湾で登録されている商標HP検索事例。鬼太郎、コナンは台湾でも大人気。

#### ■商標登録の重要性

まず商標とはなんだろうか。権利を守るため、しっかり理解したい。特許庁HPによると、「商標とは、事業者が自己の取り扱う商品・サービスを他人の商品・サービスと区別するために、その商品・サービスについて使用するマーク（標識）をいいます。」

商標制度とは、「商標法第1条には、「この法律は、商標を保護することにより、商標の使用をする者の業務上の信用の維持を図り、もって産業の発達に寄与し、あわせて需要者の利益を保護することを目的とする」とあります。消費者は勿論のこと、各企業等が円満な経済活動を行っていくためには、ある商品やサービスに触れたときその商品やサービスは、だれが製造又は提供したものなのか、その商品やサービスの質としてはどのくらいのものが期待されるのか、といった事柄が分かるシステムが必要です。そこで、商標制度は、商品やサービスに付される目印、すなわち商標を保護することを定めて、その商標に対し、それが付された商品やサービスの出所を表示する機能、品質を保証する機能及び広告機能を持たせることにより、商標を使用する者の業務上の信用の維持を図るこ

### 目次

現地発！台湾月刊レポート⑪	P 1 P 2
中国・台湾での契約における留意点について	P 2
最新の上海～現地レポート～②	P 3 P 4
セミナー開催について	P 4
編集後記	P 4

### 世界の祝日～6月～

■中国	8日	端午節 (振替休日未発表)
■香港	8日	端午節
	9日	振替公休日
■韓国	6日	戦没者慰霊日(顕忠日)
■フィリピン	9日	独立記念日

出所：ジェット通商弘報  
「世界の祝祭日2008年版」から

とを通じて、産業の発達に寄与し、一方で需要者の利益を保護しようというものです。」

## ■商標法の保護対象

商標法第2条に規定する商標、すなわち、文字、図形、記号若しくは立体的形状若しくはこれらの結合又はこれらと色彩との結合であって、業として商品を生産し、証明し若しくは譲渡する者がその商品について使用するもの、又は業として役務を提供し若しくは証明する者がその役務について使用するものを保護の対象とします。したがって、においや味、テーマソングのような音は保護の対象とはなりません。

## ■日本の名前はカッコよくて高品質！

台湾でも商標は、日本とほぼ同じ権利として保護されている。日本の名前は、カッコよく、高品質と認識されるため、使用するケースが多い。台湾の商標法では、公共財産である広く知られた地名は、登録できないことになっている。しかし当局見解によると検査担当官が、有名ではない日本の地名を理解していなかった(よって公共財とはみなさないととれる)ため、登録したようだ、とも述べている。なお、台湾の台北市日本工商會は、2008年3月28日付で台湾の經濟部智慧財産局あてに、日本の地名と地域団体商標を登録しないよう建議書を提出した。建議書に記入された鳥取関連用語は、以下の通り。

### 《地名》

「鳥取」 鳥取 Tottori とっとり トットリ  
「因幡」 因幡 Inaba いなば イナバ  
「伯耆」 伯耆 Hoki Hohki ほうき ほおき  
ホウキ ホオキ

### 《地域ブランド》 「三朝温泉」 「東伯牛」

しかし台湾で、この問題が盛り上がっているとは言いがたい。自己防衛を考えるべきだ。山形県、青森県などは、県の予算に登録費用を繰りこんだと報道されて

いる。しかし日本と台湾には、正式国交がないため日本の県と台湾との法的権利関係ができると、中国大陸側との問題もはらみかねない。個人的には、しっかり法的保護を受けるべきと思う。

ちなみに皆さんがご存じない、もう一つの大きな問題は、日本漢字と台湾漢字(繁体字)と中国大陸漢字(簡体字)。見た目が似ているが、漢字種類が違うのだ。よってパソコンから日本語で検索しても必ずしも見つかるとは限らない。またひらがな・カタカナ・英字は、漢字に変更されているケースもある。たとえば、車の「ベンツ(Benz)」は、台湾では、「賓士」だが大陸では「奔驰」。漢字も違うし想像もつかない。よって弊社でも商標調査サービス、台湾にて商標登録代行(どちらも有料)をお手伝いしている。台湾へ進出される企業は、ブランド戦略実施のためにも事前の準備も忘れずにしてほしい。



4/19、台湾の陳水扁総統と呂秀蓮副総統に遭遇。お勤め、お疲れ様でした。

日本特許庁

[http://www.jpo.go.jp/quick/index\\_sh.htm](http://www.jpo.go.jp/quick/index_sh.htm)

台湾の商標検索

[http://tipo.hinet.net/TIPO\\_DR/index.jsp](http://tipo.hinet.net/TIPO_DR/index.jsp)

台湾の台北市日本工商會 建議書

<http://kousyoukai.japan.org.tw/chimei080328cyuu.pdf>

【(株)スナーク 富田】

## 中国・台湾での契約における留意点について

貿易取引において口頭による契約も成立するが、後日のクレーム対応の為に、合意内容を書面化した正式の売買契約書を取り交わすことが大切である。基本的な契約書の構成は以下の通りとなる。

### ■表面約款：基本的な取引条件項目を記載する。

<主たる内容>

- ・品名、型番、仕様、数量
- ・通貨単位と単価、総額、取引条件(例 FOB)
- ・支払条件(信用状、送金など)
- ・船積み条件(運送の手段、仕向港、船積時期など)
- ・梱包方式、ケースマーク
- ・海上保険をつける場合の内容
- ・必要書類(原産地証明書など)

### ■裏面約款：一般取引条件を記載する。

<主たる内容>

- ・取引形態(本人対本人、又は代理店等の契約主体)

・貿易条件(インコタームズの適用)  
貿易取引は海外との取引の為、取引先の国・地域の法律、制度、商習慣などが異なっている。その為、国際商業会議所において、共通の了解事項や合意事項などを取り決め、それを国際的商慣行としている。

- ・不可抗力条項
- ・知的所有権、製造物責任に関する条項
- ・契約不履行時の措置方法
- ・クレームの通告方法や受付期間
- ・問題発生時の仲裁方法や準拠法(例 日本法)

上記の様な契約書を自社に有利な内容で、先に作成し、相手側に提示することが肝要。相手側も同じことを考えており、“先手”を打って、自社の契約書に署名させるよう、最大限の努力をすることが、主導権を握る上で重要だ。

【ジェトロ貿易相談デスク 黒住】

# 最新上海 ～現地レポート～ ②

## 上海の経済状況 その2

### ■上海における日本料理

上海の街の中を歩いていると、数多くの外国人を見かけます。ビジネスマンや留学生、旅行者に家族連れとさまざま。上海に駐在している外国人の数は年々増え続け、3ヶ月以上のビザを取得した日本人の数は2007年の段階で約48,000人、前年比では7%増とされています。

このような状況の中、以前は外国人の利用者がほとんどだった外資系スーパーも、今では中国人の姿も良く見かけられます。人気のある外食産業の一つでもある日本料理店などは上海市内だけでニューヨークの450店舗を上回る800店舗以上とも言われています。日本人駐在員の数の多さもさることながら、体にいい日本料理が外国人の多い上海でも人気があるようです。

ファーストフード店が増加し、弱年層の肥満が問題となっている中国ですが、スポーツジムに通う40代上海人女性は、「健康のことを考えると日本料理が一番」と語っており、日本料理の定着を窺い知ることができます。

市内繁華街に店舗を構え、19年の歴史のある日本料理ダイニングバー『仁清』の小谷部長に、昨今の物価上昇も含めてお話を伺いました。

#### Q1. 貴店を利用される方の客層を教えてください。

—日本人の利用が65%、中国人（台湾・香港圏含む）が30%、残りが欧米人となっています。オープン当初は日本人の利用者がほとんどでしたが、最近では現地の方の利用も徐々に多くなっています。

#### Q2. 中国の皆様も利用されているということですが、日本料理への抵抗がなくなっているのでしょうか？

—はい。お料理以外に日本酒を嗜む方も増えているようです。

#### Q3. 調達先を教えてください。

—野菜はローカルの業者を通じて仕入れ、有機野菜などは日系企業にお願いしています。魚介類は、中国国内や日本、欧米など食材により仕入先が異なってきます。例えば焼き魚に使用するものは中国国内や欧米から、セキサバやマグロなどの刺身として戴くようなものは、上海にある業者を通じ日本産を調達しています。

#### Q4. メニューはどのように決定されていますか？

—コース料理は毎月1回変更、季節にあった料理を提供しています。また中国現地の皆様にも楽しんでもらえるようなメニュー作りを心がけています。

#### Q5. 物価の高騰が気になりますが、影響は出ていますか？

—輸入品に関しては特に大きな問題はないのですが、国内から仕入れているものについては大きく

影響が出ています。食品仕入れ価格を1年前と比較すると、野菜類は1.5倍～1.7倍、肉類（特に豚肉）は2倍以上、食用油は2.5倍以上になっています。その他卵や果物も値が上がっています。仕入れ価格だけではなく人件費の負担も徐々に増えてきていますが、お客様に提供する料理の金額は変えていません。



「仁清」店内の様子。オシャレで洗練されている。

#### Q6. 一人当たりの消費金額はいくらですか？

—3月の実績ですと、420元（≒6,300円）前後でした。こちら中国現地の皆様も同額程度消費してください。

#### Q7. 最後に小谷さんから見て、上海はどのように成長していきと思いますか？

—世間で騒がれているように、これまでは製造基地としての中国でしたが、今後はマーケットとして注目すべき国になっていくと思います。特に上海は顕著だと思います。食を通じて、今後も上海の街を見て行きたいと思います。

### ■日本料理店を利用する中国人は増加傾向にある

日本料理店の価格帯ですが、高級・創作料理と食べ飲み放題と二極化しています。上記で紹介しました『仁清』の価格帯を前者とすれば、後者の価格帯は160元（≒2,400円）前後が相場のようなようです。どのような価格帯や形態で提供する日本料理店であっても、中国人利用者は増加する一方にあります。上海に限りませんが、中国の食品事情は今後も気になるところです。

90年代初頭上海における日本料理店は市内に数える程度しかありませんでした。味はともかくとして、日本人駐在員にとっては憩いの場になっていたようです。現在では、味、お店の雰囲気、価格いずれから見ても日本以上ではないかとも思えます。上海在住のビジネスマンは日本よりもおいしい日本料理を戴いているかもしれません。（文書中1元≒15円にて計算）

写真右：「仁清」料理の一部。高級感があり、日本と変わらない。



【(株)チャイナワーク 孫】

## セミナー開催について

ジェットロ鳥取およびジェットロ松江では、今後数多くのセミナーを開催する予定です。6月、7月は以下のとおり計画しています。詳細は追ってご連絡しますので、ご参加を検討いただければ幸いです。

### 《韓国セミナー》

- ◆テーマ：「新時代の日韓関係  
～日本の食品輸出は？～」
- ◆日時：2008年6月27日(金)
- ◆場所：未定
- ◆講師：元ジェットロ ソウルセンター所長  
林 哲三郎 氏
- ◆定員：30名

### 《上海セミナー》

- ◆テーマ：「正念場を迎えた中国経済  
～市場動向と食の安全は？～」
- ◆日時：2008年7月10日(木)
- ◆場所：未定
- ◆講師：元ジェットロ 上海センター所長  
藪内 正樹 氏
- ◆定員：30名

《お問合せ、お申込》

ジェットロ鳥取（担当：蒲田）TEL:0857-52-4335

【ジェットロ鳥取 蒲田】

### 編集後記

タイやベトナムの次の進出先として日本でも注目されているカンボジアの物価上昇率が、ここ最近急騰しているそうです。そのため、人々の生活全体におけるインフレが増加の一途にあるのだとか。

カンボジアで買い物をする際にまず驚くことは、ほとんどの店で（市場や屋台でも）米ドルが使えるということです。カンボジアの通貨であるリエルよりも、むしろ米ドルで支払ってくれと言われるのです。これは、リエルの為替レートが、カンボジアの経済実情よりも高いからだそうです。

ところで、カンボジア料理はタイやベトナム料理よりもマイルドで、日本人の口にも合う物が多いように感じます。また、屋台で売っている“さとうきびジュース”もほんのり甘くて美味ですが、衛生面には気をつける必要があります。【r】

写真右：アンコールワット等多くの遺跡がある  
シェムリアップ街中の様子。



『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：(財)鳥取県産業振興機構企業支援部  
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp  
TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782

とっとり貿易支援センター  
貿易に関する相談はこちらの窓口へ

### 【東部窓口】

- (財)鳥取県産業振興機構企業支援部  
海外支援グループ  
TEL 0857-52-6703
- ジェットロ鳥取貿易情報センター  
TEL 0857-52-4335

### 【西部窓口】

- (株)さかいみなと貿易センター  
TEL 0859-47-3900
- 境港貿易振興会  
TEL 0859-47-3905

### 【その他関係機関】

- 境港管理組合港湾管理委員会事務局  
TEL 0859-42-3705
- ジェットロ貿易相談デスク  
TEL 0859-45-2203